



林業の担い手育成を目指して

◎南予森林アカデミー 開講式



4月12日、南予森林組合で「南予森林アカデミー開講式」が行われました。

アカデミーは、宇和島・松野・鬼北の3市町と、南予森林組合が令和元年に協働で設立した「南予森林管理推進センター」が初めて開催。1期生となる受講生4人は講座を通して、森林林業の基礎知識を学ぶほか、林業に必要な資格の取得、インターンシップによる実践的な現場研修などにより幅広く学んだ後、地元林業事業体への就職を目指します。

森林資源の循環利用と、林業の成長産業化に向けて、担い手育成の取り組みが始まりました。

気軽に楽しく野菜づくり

◎鬼北おてがる農業倶楽部 開講式



4月10日、鬼北町農業公社で「鬼北おてがる農業倶楽部開講式」が開催されました。

主催者から「失敗しながら学んでいただきたい」とあいさつがあった後、早速ハウス内の圃場でピーマン・ミニトマトなどの夏野菜の苗を植え付けてきました。機材は貸出無料で、インストラクターが定期的に指導するので、初心者でも気軽に野菜作りが楽しめます。

受講生たちは「野菜の育成を通じて、自分自身の成長にもつなげたい」と意気込みながら、慣れない作業に汗を流していました。

武左衛門と井谷正吉の志を後世に

◎明星ヶ丘メーデー100周年の集い



4月30日、四国で最初のメーデーが大正11年5月1日に日吉明星ヶ丘で挙行されてから100年になることを記念して、「明星ヶ丘メーデー100周年の集い」が開催されました。

大正時代、貧困の解決や平等な社会実現のために無産者解放運動を展開した井谷正吉。江戸時代、藩政改革を求めて農民一揆を成功させた武左衛門。

参加者たちは、ふるさとで活躍した偉人たちの思いに触れ、郷土を愛する精神を再認識していました。

お田植え時期の濁水防止に向けて

◎農業濁水パトロール



4月14日・26日・5月17日の3日間、農業濁水流出防止対策の取り組みとして、農業濁水パトロール（主催・広見川等農業排水対策協議会）が行われました。

三間～鬼北～松野を流れる三間川・広見川の各地点で取水した水の濁度を、透視度計により計測。止水板の利用や浅水での代かきを行うことで、濁水と肥料分の流出を防ぐことができます。

日本最後の清流四万十川を守るため、皆様のご協力をお願いします。